

「秋田大学みらい創造基金学生海外派遣支援事業」帰国報告書

記入日： 2020年 1月 8日

所属： 国際資源学部／研究科 国際資源学科・課程・選修／専攻 4年

氏名：村上 瑳代

派遣先大学名（国）ラップランド応用科学大学（フィンランド）

在籍身分：交換留学

派遣期間：2019年8月～12月

渡航年月日：2019年8月18日

帰国年月日：2019年12月16日

○派遣先大学における授業等の履修状況

授業	週当たりの講義時間	修得単位数
Developing Destination Experience	3-4	5ECT
Northern Business Environment	4-5	10ECT
Survival Finnish	3	5ECT
International Forestry and Use of Northern Forests	3	5ECT
Nature and economic life in Lapland reindeer husbandry case	3	5ECT

○研究・学習概要及び今後の勉学計画

授業では観光についての授業を2つ、ラップランド地方についての授業を3つとっていました。観光について勉強するのは初めてでしたが、資源・エネルギー分野や日常生活とも深く関連していることがわかり、周りの人々の助けもあって楽しく学ぶことができました。生徒たちでスクールトリップを企画して、実際に生徒たちだけで行ったというのもよい経験になりました。先生は何かを教えるというよりは、生徒たちの監督のような立ち位置でした。先生は企画にほとんど口を出さず、見守ったり、進行状況を聞いたりするだけでした。先生たちが生徒を信頼していて、自主性や実践的な力がつくと感じました。そのような状況では生徒一人一人に責任が生まれ、先生や授業のためではなく、自分と仲間たちのためにスクールトリップが

どうやったらうまくいくかを真剣に考えることができました。自分で考えて実行することの難しさや責任感、また、楽しさを学びました。

ラップランド地方についての授業では、科学博物館にみんなで行って先生の解説を受ける、トナカイ農場に行って実際にどのように飼育されているか見るなどという授業があって理解が深まりました。また、ほかの国の学生の作ったプレゼンを見たり自分がプレゼン発表をしたりしました。

フィンランドでの経験は、私の物事に対する考え方にも影響を与えたと思います。これからは今までの経験やフィンランドで考えたこと、感じたことをもとに卒業論文に取り組んでいきます。

○生活面について

私は観光の学部には所属していて、また交換留学生向けの授業をとっていたため、フィンランドの学生とはかかわりが少なかったです。しかし、フレンドシッププログラムでできたフィンランド人の友達や学部留学をしているいろいろな国の学生、交換留学生とは交流がたくさんありました。生活面では特に困ったことはなく、何か問題が発生してもすぐに助けてくれたり解決してくれたりする人がいました。

レストランなどご飯を食べる場所は近くにはあまりなかったので、自炊している人が多かったです。物価が高い印象のフィンランドですが、スーパーでうっている野菜や果物などの食品は比較的安く手に入ります。友達と料理を一緒に作って食べたりすることができ、楽しく生活できました。

○その他留学全般にわたる感想

フィンランドについて初めのころは周りの学生たちの話す言葉を聞き取ることができず、悲しく思う日々でした。恥ずかしがりの性格から、話しかけたり話の輪にはいっていくことが難しく、苦しい思いでした。しかし、授業を受けたりクラスの友達と話したりしていくうちに、だんだんと大丈夫になっていき、少しずつ自信もついていきました。苦手なりに自分から話しかけてみたり、遊びに行こうと誘ってみたりして友達やルームメイトとの仲を深めていくこともできました。自分の周りの環境に対してうれしい！素敵！と思うことがたくさんあって以前よりも感情が濃く、豊かになったようでした。

留学全体の感想は楽しかったというものになってしまっていますが、毎日何かしらくじけそうになり、悲しい気持ちになり、苦しい気持ちになったことも忘れてたくないです。そのような気持ちが、楽しかったことの裏で私を成長させてく

(様式2)

れました。留学では、自分自身に向き合う時間がたくさんあったのもよかったです。日本にいたころは常にバイトや何かに追われていましたが、フィンランドでは空白の時間が多く、自分のこと、日本のこと、周りの人たちのことについて深く考える良い機会でした。フィンランドが好きなのはもちろんですが、日本という国のことを客観的にみることができ、日本も以前よりもっと好きになりました。悩んでいた時期もありましたが、フィンランドに行くことができ、留学をするために支えてくださった皆様には本当に感謝しています。ありがとうございます。



学校の近くの湖



素敵なルームメイト

○渡航費補助について

ご支援していただき、ありがとうございました。留学では何かとお金がかかりますが、金銭的な補助を受けることができるとても助かりました。この留学で得られたものを今後に生かすことができるよう、さらに努力したいと思います。本当にありがとうございました。